

## 參考資料

## 参考資料

### 水質基準等及び試験方法一覧

#### 1. 基準項目 (H15.5.30 厚生労働省令 最終改正R2.4.1)

項 目	基準値	単位	試験方法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法	
					最小値未満の表示方法(*1)	最大有效数字桁数
基 準 項 目	一般細菌	100以下	集落/mL	標準寒天培地法	1mL	0 2
	大腸菌	検出されないこと	-	(定性) 特定酵素基質培地法 (ビルビン酸添加Xgal-MUG培地)	100mL	検出せず -
			MPN/100mL	(定量) 特定酵素基質培地法 (MMO-MUG培地)	100mL	<1.0 <1.8 *2
	カドミウム及びその化合物	0.003以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.0001 <0.0003 *2
	水銀及びその化合物	0.0005以下	mg/L	還元気化-原子吸光度法	200mL	<0.0005
	セレン及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001
	ヒ素及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001
	六価クロム化合物	0.02以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.004
基 準 項 目	シアノ化物イオン及び塩化アン	0.01以下	mg/L	イオンクロマトグラム吸光度法	1~2mL	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.02 <0.2 *2
	フッ素及びその化合物	0.8以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.05 <0.08 *2
	ホウ素及びその化合物	1.0以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002 <0.1 *2
	四塩化炭素	0.002以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.005
	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.004 *2
	ジクロロメタン	0.02以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.002 *2
	テトラクロロエチレン	0.01以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
	トリクロロエチレン	0.01以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
基 準 項 目	ベンゼン	0.01以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
	塩素酸	0.6以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.01
	クロロ酢酸	0.02以下	mg/L	LC-MS/MS法	50mL	<0.001
	クロロホルム	0.06以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
	ジクロロ酢酸	0.03以下	mg/L	LC-MS/MS法	50mL	<0.001
	ジブロモクロロメタン	0.1以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
	臭素酸	0.01以下	mg/L	イオンクロマトグラム吸光度法	1~2mL	<0.0005
	総トリハロメタン	0.1以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
	トリクロロ酢酸	0.03以下	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.001
	プロモジクロロメタン	0.03以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
基 準 項 目	プロモホルム	0.09以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001
	ホルムアルデヒド	0.08以下	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.008
	亜鉛及びその化合物	1.0以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 <0.1 *2
	アルミニウム及びその化合物	0.2以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.01
	鉄及びその化合物	0.3以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.01 <0.03 *2
	銅及びその化合物	1.0以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 <0.1 *2
	ナトリウム及びその化合物	200以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<1.0
	マンガン及びその化合物	0.05以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001
	塩化物イオン	200以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<1.0 <2 *2
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<1.0
基 準 項 目	蒸発残留物	500以下	mg/L	重量法	100mL	0
	陰イオン界面活性剤	0.2以下	mg/L	固相抽出-HPLC法	500mL	<0.02
	ジエオスミン	0.00001以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.000001
	2-メチルインボルネオール	0.00001以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.000001
	非イオン界面活性剤	0.02以下	mg/L	固相抽出-HPLC法 固相抽出-吸光度法 *1	500mL	<0.002 <0.005 *2
	フェノール類	0.005以下(フェノールに換算)	mg/L	固相抽出-誘導体化-GC/MS法 固相抽出-LC/MS/MS法	500mL	<0.0005
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3以下	mg/L	全有機炭素計測定法	50mL	<0.2
	pH値	5.8~8.6	—	ガラス電極法	100mL	—
	味	異常でないこと	—	官能法	—	—
	臭気	異常でないこと	—	官能法	—	—
目	色度	5以下	度	比色法	100mL	<1 <0.5
				透過光測定法		
	濁度	2以下	度	比濁法	100mL	<1 <0.5 *2 <0.1 *3 <0.1
				積分球式光電度法		

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

\*1 水道事業の検査の場合は、原則、基準値の1/10(ただし、非イオン界面活性剤については、藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千里赤阪は0.005mg/L)

\*2 淀川水質協議会共同調査の場合

\*3 処理水の場合

2. 水質管理目標設定項目 (H15.10.10 厚生労働省通知 最終改正R6.4.1)

項目	目標値	単位	試験方法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法	
					最小値未満の表示方法(*1)	最大有効数字桁数
水質管	アンチモン及びその化合物	0.02以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002 3
	ウラン及びその化合物	0.002以下(暫定)	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.0002 3
	ニッケル及びその化合物	0.02以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002 3
	1,2-ジクロロエタン	0.004以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0004 2
理	トルエン	0.4以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.04 *2 2
	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08以下	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	80mL	<0.001 <0.008 *2 2
	亜塩素酸	0.6以下	mg/L	—	—	—
	二酸化塩素	0.6以下	mg/L	—	—	—
目標	ジクロロアセトニトリル	0.01以下(暫定)	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001 3
	抱水クロラール	0.02以下(暫定)	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001 3
	農薬類	1以下	—	別表参照	別表参照	0.00 2
	残留塩素	1以下	mg/L	DPD比色法又は吸光度法 携帯型残留塩素計測定法	20~50mL	0.0 2
設	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10~100	mg/L	イオンクロマトグラ法	1~2mL	<1.0 3
	マンガン及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 3
	遊離炭酸	20以下	mg/L	滴定法	—	<0.1 3
	1,1,1-トリクロロエタン	0.3以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.03 *2 2
定	メチル一チルエーテル(MTBE)	0.02以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.002 *2 2
	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3以下	mg/L	滴定法	100mL	<0.1 <0.2 *2 3
	臭気強度(TON)	3以下	—	官能法	200mL	<1 2
	蒸発残留物	30~200	mg/L	重量法	100mL	0 3
項	濁度	1以下	度	比濁法	100mL	<1 <0.5 *2 <0.1 *3 2
	pH値	7.5程度	—	積分球式光電度法	—	<0.1
	腐食性(ランゲリヤ指数)	-1~0	—	ガラス電極法	100mL	— 3
	従属栄養細菌	2000以下(暫定)	集落/mL	計算法	—	— 2
目	1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.01 *2 2
	アルミニウム及びその化合物	0.1以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.01 3
	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005(暫定)	mg/L	固相抽出-LC/MS/MS法	500mL	<0.000005 3

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

\*1 水道事業の検査の場合は、原則、目標値の1/10

\*2 淀川水質協議会共同調査の場合

\*3 処理水の場合

3. 要検討項目 (H4.12.21 厚生省通知 最終改正R5.4.1)

項目	目標値	単位	試験方法	検水量	試験成績表示方法	
					最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
要検討	銀及びその化合物	—	mg/L	—	—	—
	バリウム及びその化合物	0.7	mg/L	—	—	—
	ビスマス及びその化合物	—	mg/L	—	—	—
	モリブデン及びその化合物	0.07	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 3
	アクリルアミド	0.0005	mg/L	—	—	—
	アクリル酸	—	mg/L	—	—	—
	17-β-エストラジオール	0.00008(暫定)	mg/L	—	—	—
	エチニル-エストラジオール	0.00002(暫定)	mg/L	—	—	—
	エチレンジアミン四酢酸(EDTA)	0.5	mg/L	—	—	—
	エピクロロヒドリン	0.0004(暫定)	mg/L	—	—	—
項目	塩化ビニル	0.002	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001 2
	酢酸ビニル	—	mg/L	—	—	—
	2,4-ジアミノトルエン	—	mg/L	—	—	—
	2,6-ジアミノトルエン	—	mg/L	—	—	—
	N,N-ジメチルアニリン	—	mg/L	—	—	—
	スチレン	0.02	mg/L	—	—	—
	ダイオキシン類(コラーナ-PCBを含む)	1(暫定)	pg-TEQ/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001 2
	トリエチレントラミン	—	mg/L	固相抽出-GC/MS法	50L	<0.1 2
	ノニルフェノール	0.3(暫定)	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.003 2
	ビスフェノールA	0.1(暫定)	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001 2
項目	ヒドrazin	—	mg/L	—	—	—
	1,2-ブタジエン	—	mg/L	—	—	—
	1,3-ブタジエン	—	mg/L	—	—	—
	フタル酸ジ(n-ブチル)	0.01	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	80mL	<0.0001 2
	フタル酸チルベンジル	0.5	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	80mL	<0.0001 2
	ミクロギスチン-LR	0.0008(暫定)	mg/L	—	—	—
	有機ずり化合物	0.0006(TBT0 *) (暫定)	mg/L	—	—	—
	プロモクロロ酢酸	—	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.001 3
	プロモジクロロ酢酸	—	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.001 3
	ジプロモクロロ酢酸	—	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.001 3
項目	プロモ酢酸	—	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.001 3
	ジプロモ酢酸	—	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.001 3
	トリプロモ酢酸	—	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.01 3
	トリクロロアセトニトリル	—	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001 3
	プロモクロロアセトニトリル	—	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001 3
	ジプロモアセトニトリル	0.06	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001 3
	アセトアルデヒド	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001 3
	MX	0.001	mg/L	—	—	—
	キシレン	0.4	mg/L	—	—	—
	過塩素酸	0.025	mg/L	—	—	—
項目	N-ニトロソジメチルアミン(ndMA)	0.0001	mg/L	固相抽出-LC/MS/MS法	250mL	<0.000005 2
	アニリン	0.02	mg/L	—	—	—
	キノリン	0.0001	mg/L	—	—	—
	1,2,3-トリクロロベンゼン	0.02	mg/L	—	—	—
	ニトリロ三酢酸(NTA)	0.2	mg/L	—	—	—
*有機ずり化合物の評価値は、 トリクロロスオキサイド(TBT0)の目標値						3

#### 4. その他項目

項目	単位	試験方法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法	
				最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
その他の項目	気温	°C	棒状水銀温度計	—	— 3
	水温	°C	熱電対温度計	—	— 3
	透明度	m	透明度板法	— 0.0 <0.1 *2	2
	電気伝導率	μS/cm mS/m *3	電極法	100mL 0.0 *1 <1 *2	3
	浮遊物質量(SS)	mg/L	ろ過法	200mL 0 <1 *2	3
	総アルカリ度	mg/L	滴定法	100mL 0.0	3
	総酸度	mg/L	滴定法	100mL 0.0	3
	溶存酸素(DO)	mg/L	ウインクラーバジ化ナトリウム変法	100mL 0.00 <0.1 *2	3
	酸素飽和百分率	%	計算法	— 0.0	3
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	直接希釀法	100mL 0.0 <0.1 *2	2
	溶存有機炭素(DOC)	mg/L	燃焼酸化法(GF/Bろ過)	50mL <0.2	2
	紫外線吸光度(260nm,10cm又は50mm)	—	吸光度法	— 0.000 <0.001 *2	3
	リン酸イオン	mg/L	モリブデンブルー法	50mL <0.01	3
	総リン	mg/L	硫酸酸性濃縮モリブデンブルー法	50~250mL <0.01	3
項目	アンモニア態窒素	mg/L	イオン電極法	100mL <0.01 <0.02 *2	3
	硝酸態窒素	mg/L	イオンクロマトグラ法	1~2mL <0.1	3
	総窒素	mg/L	触媒酸化変換法	100mL <0.1	3
	溶存マンガン	mg/L	ホルムアルドキシム法	20mL <0.01	2
	クロロフィルa	mg/L	アセトン抽出法	50mL <0.001	3
	クロム及びその化合物	mg/L	ICP-MS法	50mL <0.001 <0.002 *2	3
	臭化物イオン	mg/L	イオンクロマトグラ法	1~2mL <0.01 <0.02 *2	2
	硫酸イオン	mg/L	イオンクロマトグラ法	1~2mL <2.0 <1.0 *1	3
	塩素要求量	mg/L	塩素添加+DPD比色法	50~100mL <0.1	2
	溶存オゾン濃度	mg/L	インジゴ法	20mL <0.01	3
項目	蛍光強度	—	蛍光光度法	— <0.01	3
	大腸菌群	MPN/100mL	特定酵素基質培地法 (MMO-MUG培地)	100mL <1.0 <1.8 *2	2
	生物	個又は群体/mL又はL	ろ過法及び遠心沈殿法	0.1~1 L 0 2 *2	2
	クリプトボリジウム等	オージスト/10L(原水)	ショ糖浮遊+免疫磁気ビーズ法	10L(原水) 0	2
	嫌気性芽胞菌	集落/100mL	メンブランフィルター法	10~50mL 0	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

\*1 水道事業者の場合

\*2 淀川水質協議会共同調査の場合

\*3 藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪の場合

#### 5. 消毒副生成物生成能

項目	単位	試験方法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法	
				最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
クロロホルム生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL <0.001	2	
ジプロモクロロメタン生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL <0.001	2	
プロモジクロロメタン生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL <0.001	2	
プロモホルム生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL <0.001	2	
総トリハロメタン生成能(THMFP)	mg/L	PT-GC/MS法	200mL <0.001	2	

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

## 6. 農薬類

### ① 対象農薬リスト (H15.10.10 厚生労働省通知 最終改正R6.4.1)

項目			目標値	単位	試験方法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法	
							最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
水質管理目標設定項目	1	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	0.05	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0005	2
	2	2,2-DPA (ダラボン)	0.08	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0008	2
	3	2,4-D (2,4-PA)	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	4	EPN	0.004	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00004	2
	5	MCPA	0.005	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00005	2
	6	アシュラム	0.9	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.009	2
	7	アセフェート	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00006	2
	8	アトラジン	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	9	アニロホス	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003	2
	10	アミトラズ	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00006	2
	11	アラクロール	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	12	イソキサチオン	0.005	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00005	2
	13	イソフェンホス	0.001	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00001	2
	14	イソプロカルブ (MIPC)	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	15	イソプロチオラン (IPT)	0.3	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.003	2
	16	イブフェンカルバゾン	0.002	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00002	2
	17	イプロベンホス (IBP)	0.09	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0009	2
	18	イミノクタジン	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.0005	2
	19	インダノファン	0.009	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00009	2
	20	エスプロカルブ	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	21	エトフェンブロックス	0.08	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0008	2
	22	エンドスルファン (ベンゾエピン)	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	23	オキサジクロメホン	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	24	オキシン銅 (有機銅)	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	25	オリサストロビン	0.1	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
	26	カズサホス	0.0006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00005	2
	27	カafenストロール	0.008	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00008	2
	28	カルタップ	0.08	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0008	2
	29	カルパリル (NAC)	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	30	カルボフラン	0.0003	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.000003	2
	31	キノクラミン (CAN)	0.005	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00005	2
	32	キャプタン	0.3	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.003	2
	33	クミルロン	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	34	グリホサート	2	mg/L	誘導体化-HPLC	20mL	<0.02	2
	35	グルホシネート	0.02	mg/L	誘導体化-HPLC	20mL	<0.0002	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

項目			目標値	単位	試験方法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法	
水質管理目標	項目	測定値	単位	試験方法	検水量	最小値未満の表示方法	最大有効桁数	
	36	クロメプロップ	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
水質管理目標	37	クロルニトロフェン (CNP)	0.0001	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00001 <0.0002 *1	2
	38	クロルピリホス	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	39	クロロタロニル (TPN)	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	40	シアナジン	0.001	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00001	2
	41	シアノホス (CYAP)	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	42	ジウロン (DCMU)	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	43	ジクロベニル (DBN)	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	44	ジクロルボス (DDVP)	0.008	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00008 <0.0005 *1	2
	45	ジクワット	0.01	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.0001	2
	46	ジスルホトン (エチルチオメトン)	0.004	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00004	2
目標	47	ジチオカルバメート系農薬 (二硫化炭素として)	0.005	mg/L	HS-GC/MS法	10mL	<0.00005	2
	48	ジチオビル	0.009	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00009	2
	49	シハロホップブチル	0.006	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00006	2
	50	シマジン (CAT)	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003	2
	51	ジメタメトリン	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	52	ジメトエート	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	53	シメトリン	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	54	ダイアジノン	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003	2
	55	ダイムロン	0.8	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.008	2
	56	ダゾメット、メタム(カーバム)及び メチルイソチオシアネート	0.01 (メチルイソチオシアネートとして)	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2
定項	57	チアジニル	0.1	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.001	2
	58	チウラム	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	59	チオジカルブ	0.08	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0008	2
	60	チオファネートメチル	0.3	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.003	2
	61	チオベンカルブ	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	62	テフリルトリオン	0.002	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00002	2
	63	テルブカルブ (MBPMC)	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	64	トリクロビル	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00006	2
	65	トリクロルホン (DEP)	0.005	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00005 <0.0005 *1	2
	66	トリシクラゾール	0.1	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.001	2
目	67	トリフルラリン	0.06	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0006	2
	68	ナプロバミド	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	69	パラコート	0.01	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.0001	2
	70	ピペロホス	0.0009	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00001	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

\*1 淀川水質協議会共同調査の場合

項目			目標値	単位	試験方法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法	
水質管理目標	項目	定項目	105	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
	71	ピラクロニル	0.01				<0.0001	2
	72	ピラゾキシフェン	0.004				<0.00004	2
	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02				<0.0002 <0.0004 *1	2
	74	ピリダafenチオン	0.002				<0.00002 <0.0002 *1	2
	75	ピリブチカルブ	0.02				<0.0002	2
	76	ピロキロン	0.05				<0.0005	2
	77	フィプロニル	0.0005				<0.000005	2
	78	フェニトロチオン(MEP)	0.01				<0.0001	2
	79	フェノブカルブ(BPMC)	0.03				<0.0003	2
水質管理目標	80	フェリムゾン	0.05				<0.0005	2
	81	フェンチオン(MPP)	0.006				<0.00006	2
	82	フェントエート(PAP)	0.007				<0.00007	2
	83	フェントラザミド	0.01				<0.0001	2
	84	フサライド	0.1				<0.001	2
	85	ブタクロール	0.03				<0.0003	2
	86	ブタミホス	0.02				<0.0002	2
	87	ブプロフェジン	0.02				<0.0002	2
	88	フルアジナム	0.03				<0.0003	2
	89	プレチラクロール	0.05				<0.0005	2
水質管理目標	90	プロシミドン	0.09				<0.0009	2
	91	プロチオホス	0.007				<0.00007	2
	92	プロピコナゾール	0.05				<0.0005	2
	93	プロビザミド	0.05				<0.0005	2
	94	プロベナゾール	0.03				<0.0003	2
	95	プロモブチド	0.1				<0.001	2
	96	ペノミル	0.02				<0.0002	2
	97	ベンシクロン	0.1				<0.001	2
	98	ベンゾビシクロン	0.09				<0.0009	2
	99	ベンゾフェナップ	0.005				<0.00005	2
水質監視項目	100	ベンタゾン	0.2				<0.002	2
	101	ベンディメタリン	0.3				<0.003	2
	102	ベンフラカルブ	0.02				<0.0002	2
	103	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.01				<0.0001	2
	104	ベンフレセート	0.07				<0.0007	2
	105	ホスチアゼート	0.005				<0.00005	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

\*1 淀川水質協議会共同調査の場合

項 目		目標値	単位	試 験 方 法 <sup>注)</sup>	検水量 <sup>注)</sup>	試験成績表示方法		
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数	
水質管理目標項目	106	マラチオン(マラソン)	0.7	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.007	2
	107	メコプロップ(MCPP)	0.05	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0005	2
	108	メソミル	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	109	メタラキシル	0.2	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.002	2
	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00004	2
	111	メトミノストロビン	0.04	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0004	2
	112	メトリブジン	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	113	メフェナセット	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	114	メブロニル	0.1	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
	115	モリネート	0.005	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00005	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

## ② 要検討農薬 (H4.12.21 厚生省通知 最終改正R5.4.1)

項 目		目標値	単位	試 験 方 法	検水量	試験成績表示方法	
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
5	クロロピクリン	0.003	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2

## 工業用水 水質基準等及び試験方法一覧

### 1. 工業用水水質基準 大阪広域水道企業団工業用水道事業給水条例第19条

項 目	基準値	単 位	試 験 方 法
濁度	30以下	度	透視比濁法
水素イオン濃度(pH値)	6.0~8.3	-	ガラス電極法

### (一社)日本工業用水協会 工業用水道供給標準値

項 目	標準値	単 位	試 験 方 法
濁度	20	度	透視比濁法
水素イオン濃度(pH値)	6.5~8.0	-	ガラス電極法
アルカリ度	75	mg/L	滴 定 法
硬度	120	mg/L	ICP-MS法又はイオンクロマトグラ法
蒸発残留物	250	mg/L	重 量 法
塩素イオン	80	mg/L	イオンクロマトグラ法
鉄	0.3	mg/L	ICP-MS法
マンガン	0.2	mg/L	ICP-MS法